

みどいの風 NO.38

発行・編集責任（緑風会会長 大矢正明）

国会請願署名 御協力ありがとうございました

多くの患者さん、スタッフさんに感謝！！

腎疾患総合対策署名 422 筆（22 年度 372 筆、21 年度 135 筆）
医療・福祉・介護・年金等署名 409 筆（22 年度 167 筆、21 年度 68 筆）

請願募金 51,500 円（緑風会+個人募金）

能登半島地震 その後の透析患者の状況

石川県の状況

- 災害発生当初、緊急で**福井県、富山県へ移送された透析患者**は、現在石川県に戻り金沢市内を中心に県内の施設で透析を受けている。
- 県腎協として**石川県透析連絡協議会、病院等連携**して情報収集している。
- 透析患者で亡くなった情報は現在のところない。

富山県の状況

- 県内複数の透析施設が被害を受けた。とりわけ被害の大きかった氷見市では**3施設が被害**を受け、一時他の施設で透析を受けたり、自施設で透析を受けられても**短時間透析**を余儀なくされた患者もいた。これらの施設では現在通常透析に戻っている。
- 一方で**自宅が半壊・浸水等**で住めず、家族で用意してくれたアパートで生活し、そこから**近くの透析施設**に通っている患者もいる。

新潟県の状況

- 現在は通常透析施設に戻っているが、発災当日は透析が中止され、翌日透析に切り替わったところ、**短時間透析で対応**したところもあった。
- 一部地域では**液状化現象で被害**が出ているところもある。
- 住宅に被害の出た会員もいる。

被害にみまわれた会員はじめご家族の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

いまだに大きな余震が続くなか、停電に断水と心休むことのない生活を強いられている皆さまに一日でも早く復興され普段の生活に戻れることを祈念いたします。

全腎協災害対策本部長 池田 充

その2 =大きな災害が透析施設以外にいるときに起こったら？

大きな災害が起きると、停電や断水、施設や設備の損傷のため、多くの施設で透析ができなくなります。

災害の規模や発生地域から判断して、自分が普段透析を受けている施設の被害が大きいと想定される場合は、自施設透析が可能かどうかを知る必要があります。

自施設で透析ができるかどうかわからない場合でも、**可能な限り自施設に向かうのが基本です**。透析ができない場合は、施設が責任を持って、複数の患者をまとめて透析を受け入れてもらえる他施設に依頼するからです。透析日であればなるべく早い時間に施設に向かってください。

大きな災害発生時は、施設からの送迎サービスは通常おどおりに迎えに行くことが困難になりますので、**基本自力で施設に向かう必要があります**。家族や介護サービス事業者に、災害時の対応について事前に確認しておくといでしょう。

その3 =避難所に避難した時は？

避難所に避難した場合は、**透析を受けていることを**、自治体の職員やボランティア、巡回の医師・看護師、あるいは周囲の方に**必ずきちんと申し出てください**。

災害時には自分で自分を守る積極性が必要です。

その4 =他施設で透析をする上で必要な情報

- ドライウエイト ○氏名・年齢 ○アレルギーがあればその内容
- 感染症の有無(慢性肝炎など) ○処方されている薬の種類とその飲み方
- 人工血管の場合血流の向き ○普段透析を受けている施設の連絡先

災害時の注意点まとめ

1. 施設からの避難時は、**患者同士助け合う**
2. 災害時にどのように施設と連絡を取り合うのか、事前に施設へ確認
3. **自施設で透析ができないとわかっても自施設へ向かうのが基本**
4. 送迎サービスを受けている場合、家族や介護サービス事業者に災害時の対応について事前に確認
5. **避難所では透析を受けていることを周囲に申し出る**
6. **他施設での臨時透析は、多くの人の理解と努力があることを忘れない。**
7. 被災時は、**塩分、カリウム、水分の摂りすぎには特に注意が必要**

災害時に備え用意したい持ちだし物品

○特に重要なもの

- ◆身体障害者手帳(コピーで可) ◆常備薬(3日分) ◆現金
- ◆お薬手帳 ◆止血ベルト ◆下着